

地区だより

…………… 令和4年7月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,113人 女 20,577人
計 39,690人
世帯数：21,259世帯
(6月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

令和4年度市衛生事業功労者等表彰式

5月26日、とうほう・みんなの文化センターにおいて、衛生事業功労者等表彰式を開催し、地域の衛生事業の推進に尽力された個人、団体の功績を称え表彰しました。

中央地区では、3人が受賞されました。誠におめでとうございます。

■問/環境課 ☎525-3742

▶表彰式に出席された
(左から)長尾様、梶川様



■市長表彰【優良衛生組合員】

かじかわ くによし
梶川 邦義 様(野田町南町会)
こんの きんや
今野 金哉 様(旭町町会)

■市衛生団体連合会会長表彰【優良衛生組合員】

ながお え
長尾かな江 様(宮下町会)

ふくしま共創のまちづくり計画推進に向けて 史跡探訪フィールドワーク開催～みんなで歩こうみかわだい～

中央西地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会(以下、懇談会)および三河台地区体育協会の共催事業として、三河台地区に住む皆さんを主対象としたフィールドワークを5月28日に開催しました。

子どもから大人まで幅広い世代の方々に参加いただき、交流を図りながら健康づくりへの意識を高めてもらい、地域の歴史への理解を深めることができました。

さらに、当日は参加者の皆さんにより「危険箇所」の点検も行いました。今後は、地区の危険箇所を取りまとめ、活用を検討していきます。

懇談会では、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら地域活動を行う「ウィズコロナ」の意識を持ち、今後も魅力あふれる地域づくりにつながる活動を実践していきます。



▲懇談会代表の江川純子さん・地区体育協会会長の亀岡偉民さんと参加者の皆さん



◀史跡の説明に耳を傾ける参加者の皆さん

■問/地域共創課 ☎525-3731

地区内の工事情報

工事箇所	路線名	工事種別	予定工期		備考	担当課
			着工	完了		
御山町	市道太平寺・山口線	下水道管布設替え工事	令和4年 6月下旬	令和4年 11月下旬	午前9時～午後5時 幅員減少	下水道管理センター

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊚533-7592

親子の広場 参加者募集!

今年度も、夏休み中に2回開催します。内容は、「つくってあそぼう! (科学工作1回)」、
「星空観察(1回)」です。2回連続で申し込んでも、1回のみ参加でも受け付けます。

- ◇対象者 中央地区内の小学校1年から3年までの児童とその保護者
- ◇定員 科学工作 15組(1組は、保護者1名と児童は兄弟でも参加可能です。)
星空観察 15組(1組は、児童1名、保護者1名の2名となります。)
※星空観察は市のバス2台で移動します



◇開催日時と内容

	開催日時	内容・講師	場所
I	7月30日(出) 午前10時~12時	楽しい科学遊び ~つくってあそぼう~ [昨年度の内容] プンポンごま作り、プラコップ飛ばし、 液体窒素での実験など 今年度は何かな? 講師: 元福島市立講師・元三河台小学校長 荒木 藤夫 先生	中央学習センター 2階ホール
II	8月3日(水) 午後5時半~9時半 (17:20学習センター集合、 17:30出発 20:15浄土平発、 21:20学習センター着予定)	星空観察 天体望遠鏡で夏の夜空を観察して、宇宙や星座の話をお聞かせします。 親子で素敵な星空をながめてみましょう。 講師: 福島天文同好会 会長 佐藤 光氏 福島天文同好会 佐藤 正行氏	浄土平 (雨天時は中央学習 センター2階ホール 午後6時~7時半)

- ◇参加費 親子ともに、「I」は1人200円、「II」は1人150円
- ◇申込 7月4日(月)9時~7月11日(月)正午まで、中央学習センター窓口で受け付けます。参加費を添えてお申し込みください。
電話での申し込みは、7月6日(水)から受け付けます。電話: 534-6631
なお、7月5日(火)は休館日のため申込みできません。
- ◇その他 申し込み後、都合でキャンセルする場合は、すぐにお電話ください。なお、準備の都合で、返金できない場合もあります。

ICT活用セミナースマートフォン体験講座

~はじめてのスマホ!~

初心者向け简单便利な
スマートフォンの使い方

これからスマホ(携帯電話)を使いたいと考えている方を対象に、実際に『スマートフォン』を触って体験しながら初歩的な操作(電話のかけ方・受け方等)や便利な機能(QRコード・インターネット等)を学ぶことで、スマホに対する不安を解消しませんか?

- 日時 ①7月27日(水) ②8月3日(水)
※どちらかの期日を選択し、申し込んでください。
- 時間 午後2時~4時(終了予定)
- 場所 中央学習センター ①第1講義室 ②ホール
- 内容 講師が用意する『かんたんに操作ができるスマートフォン』を使ってスマホ体験をします。
・基本的な操作の仕方、電話のかけ方・受け方、便利機能(QRコード・インターネット等)、よさなどについて
- 対象者 中央地区在住・通勤の一般成人の方で、初めてスマートフォンを使用してみたいと考えている方
- 定員 ①10名 ②14名 (①②とも先着順)
- 講師 ドコモショップ福島野田店より ●参加費 無料
- 準備物 筆記用具等 ※使用する「スマートフォン」は講師側で準備します。
- 申込み 7月6日(水)~7月21日(木)までの間に、中央学習センター窓口で申込みください。
※7月7日(木)より電話受付します。
窓口・電話受付時間 午前9時~午後5時45分 休館日(火曜日・祝日)を除く

「福島エール川柳」作品募集!

「福島エール川柳」を募集します! ぜひ川柳をつくって応募してみませんか?
皆様の応募をお待ちしています。

- 募集期日 10月31日(月)まで
- テーマ 「自由吟」と「課題吟」の募集(両方の応募も可)
課題吟のお題は「健康」「18歳成人」
- 応募方法
①オンライン申請システム
右のQRコードからアクセスして申込
②各学習センター備え付けの応募用紙に必要事項を記入し各学習センターまで持参
※応募点数は1人3句以内とし、自作、未発表のものに限ります
- 発表 令和4年11月下旬
市ホームページ等による



自宅にしながら川柳を学べる!?
「福島エール川柳動画講座」配信中
こちらも併せてチェック ⇒



令和やさしい地元学

信夫野・歴史の細道 第16回

ふくしまけん歴史の案内人の会
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長: 紺野義行氏

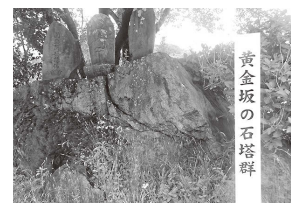
伊達氏と米沢街道①

奥羽山脈を境として、福島盆地と米沢を中心とする置賜盆地を結び道は米沢街道と呼ばれている。庭坂から山道に入り難所とされる板屋峠を越えて米沢へ出る。一体いつ頃から利用されてきたのか。吾妻山の山麓に点在する縄文遺跡をみると、近くを流れる河川に沿って狩猟・漁労を行いながら、川を上流へのぼっていくと分水嶺に出る。そこから反対側を下れば米沢側の置賜地方へ出る。

宮畑遺跡では、縄文時代の小さな容器に入ったアスファルトが見つかっている。天然アスファルトは秋田県から新潟県にかけての日本海沿岸部にしか産出しない。新潟は地理的には近く、阿賀野川を上れば会津盆地に着く。また、日常生活用具の材料は山形産の石(頁岩)で、遺跡周辺では取れない石で作られている。これらは遠く離れた産地でどれかが採取し、だれかによって福島市の縄文ムラに運ばれ使われたものと思われる。こうした縄文時代の物流の道をさぐりだすことは至難の技であり、その痕跡を発見することは不可能に近い。しかし、福島と新潟、米沢を結び道を4000年前の縄文時代から生活物資が移動していたのは確かであり、何らかの道はあったのである。

その道は、私たちが考える人工的な道路ではなく、それぞれのムラをつくっている山や川、平地、高地、湿地、平野、峠、湖、池、沼などの自然地理であり、その地理的知識の組み合わせが道なのかもしれない。その後律令制(奈良・平安時代の法令)の日本は、地方行政区画を「五畿七道」と定めた。道路は国をつくる大事な基盤となった。

米沢街道が本格的に歴史に登場するのは16世紀半ばである。天文の乱後、天文18年(1549)11月伊達晴宗(15代)は桑折西山城を廃城とし、伊達郡から米沢に居城を移した。同じ頃、弟実元を信夫郡大森城主とした。米沢を本城とした伊達氏にとって、信夫・伊達第一の要城は大森城となり、繋ぐ道路は重要な交通路であり、緊急に必要な道路であった。おそらくその頃板谷峠が改修されて山形の置賜と福島の庭坂を結び米沢街道が本格的に開鑿(かいさく)されたのである。



黄金坂の石碑(庭坂)

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。